

㈱日立製作所と市が実施する共創プロジェクトにおける取組状況について

1 令和 7 年度 of 取組状況について

(1) グランドデザインの実現に向けた検討

交通に関する様々なデータ（交通量、バス乗降者数、人流などのビックデータ等）を収集し、㈱日立製作所の交通シミュレーションツールの活用により、市内の交通状況を可視化・分析した上で、課題への対応策を検討・効果検証を行った。

(2) 電動キックボードを活用した実証実験

ア シェアリングによる実証実験

- ・実証期間：令和 7 年 10 月 7 日（火）から 12 月 25 日（木）まで
- ・シェアリングポート設置箇所：日立駅西口広場外 5 箇所
- ・利用状況

延べ利用回数：901 回（1 日当たり 11.3 回）

利用登録者数：476 人

イ 通勤者向けモニター実証実験

- ・実証期間：令和 7 年 10 月 5 日（日）から 11 月 3 日（月・祝）まで
- ・モニター人数：9 人
- ・延べ利用回数：78 回

ウ 実験結果

- ・シェアリング、モニター実証ともに、無事故・無違反であり盗難等のトラブルもなかった。
- ・利用者アンケートの結果、約 86%が「実装された場合に利用したい」と回答しており、一定のニーズがあることが確認された。
- ・また、走行可能エリアの拡大や、シェアリングポートの増設による利便性向上を求める声が多かった。

(3) 山側住宅団地の移動手段検討に向けたアンケート調査の実施

住民の高齢化の進展や急な坂道が多い地形といった実情により、路線バス等の公共交通が利用しづらい山側住宅団地における移動手段を検討するため、住民の移動実態や課題を把握するアンケート調査を実施した。

ア 調査概要

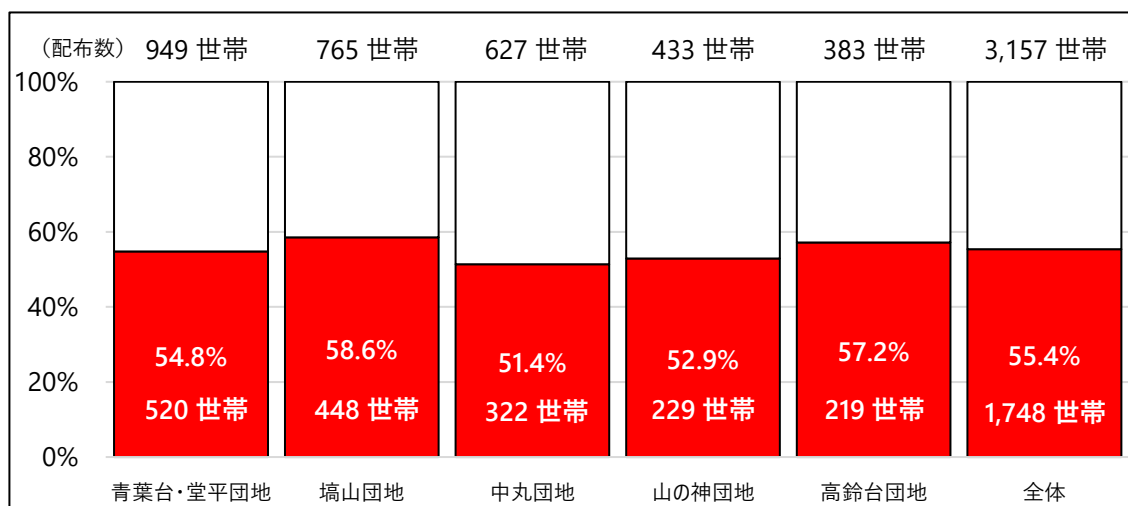
- ・対象（パートナーシップ協定締結地域）

高鈴台団地、山の神団地、青葉台団地、堂平団地、中丸団地、塙山団地に居住する全ての世帯（3,157世帯）

- ・調査方法：郵送での配布・回収により実施
- ・アンケート内容：対象地域住民の移動実態、公共交通の利用状況や利用課題、今後の移動手段に関する意識等について調査した。

イ 回収状況

- ・回収率：55.4%（1,748世帯）
- ・団地ごとの回収率



ウ 集計結果（抜粋）

- ・運転免許の保有状況について

回答全体では、免許を持っていて日常的に運転している人が約7割となったが、後期高齢者である75歳以上においては運転免許の保有率が下がり、85歳以上で日常的に運転している人は約3割となった。

- ・買物への外出について

回答者の半数程度が週1～2日で買物へ外出しており、8時～11時、13時～17時の時間帯での外出が多い。移動手段のうち、自分で車を運転する方が約73%であり、路線バスは約10%、タクシーは0.7%であった。

- ・通院での外出について

回答者の約4割が2、3ヶ月に1日の頻度で通院しており、8時～11時の午前中の時間帯での外出が多い。移動手段のうち、自分で車を運転する方が約65%であり、路線バスは約10%、タクシーは約2%であった。

- ・路線バス、タクシーの利用頻度について
いずれも、利用したことがない人や、月1回未満の低頻度で利用する人を合わせると約8割となった。
- ・将来の公共交通の利用意向について
利用環境等の条件によって、将来的には公共交通を利用したいと回答した人が約7割となった。

2 令和8年度取組状況について

ア TDM施策・公共交通の再構築（リ・デザイン）の検討実施

交通流データの可視化・分析により、交通渋滞の緩和に向けた効果的な施策を検討する。また、既存交通と新たなモビリティを組み合わせた公共交通の再構築（リ・デザイン）を有識者の助言などを基に検討する。

イ 取得したデータの分析結果や有識者の助言を基にした施策案について、市民からの意見聴取（ワークショップ、パブリックコメント等）を実施する。

以 上